

昭和十九年二月三日(木曜日)午後一時三
十六分開會 帝國議會 貴族院 ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案

特別委員會議事速記録第四號

昭和十九年二月三日(木曜日)午後一時三

十六分開會

○委員長(男爵東郷安君) 開會致シマス、戰時特殊損害保険法ニ
昨日ニ引續キマシテ戰時特殊損害保険法ニ
關スル質問ヲ願ヒマス、岩田宙造君

○委員外議員(岩田宙造君) 私ハ御許ヲ得
マシテ成ルタケ簡単ニ二三ノ點ニ付テ御尋
テ致シタイト思ヒマス、第一ハ第三條ノ規
定ニ付テ、ゴザイマスルガ、之ニ依リマス
ルト、普通ノ火災保険ヲ戰争保險又ハ地震
保險ノ目的タルモノニ付テ締結ヲ致シマシ
タ場合ニハ、其ノモノニ付テ當然戰爭保險
又ハ地震保險契約ガ締結セラレタモノト看
做サレルコトニナツテ居ルノデアリマスル
ガ、是ハモウ當事者ノ意思ニ拘ラズ、強制
保險ト同ジヤウニ成立スル筋アラウト思
フノデアリマスガ、サウ致シマスト此ノ第
四條ニ、強制的ニ戰爭保險又ハ地震保險ヲ
付スベキコトヲ命ゼラレル場合ニ付キマシ
テハ條件ガアルノデアリマシテ、「國家經濟
ノ秩序ヲ維持シ又ハ國民生活ノ安定ヲ圖ル
條件ノナイ場合デモ、當事者ハ掛ケタクナ
クテモ火災保險ヲ締結シタ以上ハ、當然戰
爭保險ナリ地震保險ナリノ契約ヲ締結セシ
メラル、ト云フ結果ニナツテ居リマス、其ノ
兩方ノ權衡ガドウカト思フノデアリマスガ、
其ノ點ニ付テ第一ニ伺ヒタイノゴザイマ

昭和十九年二月三日(木曜日)午後一時三
十六分開會 帝國議會 貴族院 ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案

○政府委員(山際正道君) 只今御尋デゴザ
イマシタ第三條ノ關係ノ事項デアリマスガ、
之ノ解釋ト致シマシテハ、只今御示ノゴザ
即チ第三條ノ規定ニ依リマシテ、一定條件
ノ下ニ火災保險契約ガ成立致シマス場合ハ、
當事者ノ意思ヲ問ハズシテ當然ニ戰爭保險
契約又ハ地震保險契約ヲ成立サセルト云フ
關係ニナルノデゴザイマス、從ヒマシテ、
其ノ意味ニ於キマシテハ、半ば強制的ニ戰
爭保險ナリ地震保險ナリヲ成立サセルト云
フ實體ニモナラウト思フノデゴザイマス、
其ノ取扱ヲスル必要ヲ認メマスル理由ハ、
此ノ戰時下ニ於キマシテ火災保險契約ヲ締
結致シマシテモ、戰爭事故又ハ地震ノ事故
ニ依シテ生ジタ火災迄モ擔保ヲシナケレバ、
火災保險ノ目的ヲ達シナイ實情ガ大部分デ
アラウト思フノデゴザイマス、過般ノ鳥取
震災ノ場合バカリデナク、過去ニ於ケル關
東大震災其ノ他ノ例ニ鑑ミマシテモ、折角
火災保險ヲ掛ケマシタモノガ、愈、地震ニ
依シテ火災ガ起リマシタ結果、其ノ保險金ガ
貰ヘナイト云フ爲ニ、屢々、非常ニ保險契約者
ガ失望致シマシタリ、或ハ又果シテ其ノ原
因ガ地震ニ因ルモノデアルカ通常ノ火災ニ
依ルモノデアルカ等ノ疑問ニ付キマシテ、
色々紛議ガ行ハジル狀態デアルノデゴザイ
マス、デアリマスカラ見方ヲ變ヘテ申シマ
スト、現在ノ火災保險契約デハ、地震ニ依
ル火災ハ免責ニナツテ居リマスガ、其ノ免責
ヲ取拂フト同ジヤウナ效果ヲ付ケルコトガ

恐ラクハ火災保險ノ契約者ノ望ミニモ合致
スルデゴザイマセウシ、又保險制度ヲ世ノ
中ニ認メテ行キマス趣旨カラ申シマシテモ、
ソコ迄徹底シナケレバ火災保險ノ目的ガ達
成サレナイ、ト云フ結果ニナルノデハナイ
カト考ヘタノデゴザイマス、ガ別個ノ契約
ト致シマシテ、所謂填補範圍ノ擴張ノ方法
ニ依リマセヌデシタ理由ハ、單ニ火災バカリ
デナク、損壊デアリマストカ、其ノ他地震ナラ
地震ニ付テ生ジ勝チ他ノ原因ヲモ取込メマ
シテ、併セテ保險ヲスルノガ適當ダラウト
考ヘマシタ結果、單ニ火災保險約款ノ免責
事項ヲ削除スルト云フコトニ止マラズシテ、
別ニ地震保險契約ガ當然ニ成立スルト云フ
コトヲ考ヘタノデゴザイマス、戰爭保險ニ
付キマシテモ、是ハ昨日モ御説明申上ゲマ
シタガ、地域ヲ相當考慮ニ入レマシテ、今
日ノ客觀的ナ情勢ト致シマシテ、空襲ナド
ノ危險ノ特ニ大デアルト認メラル、地域ニ
於キマシテ、此ノ條文ヲ適用シヨウト云フ
ノデゴザイマスガ、矢張リ同ジヤウナ事情
ガソコニ生ズルト考ヘタノデゴザイマス、
規定ノ體裁カラ申シマスト、成ル程第四條
ニ「國家經濟ノ秩序ヲ維持シ又ハ國民生活ノ
安定ヲ圖ル爲」云々ト云フ規定ガアルノニ對
シマシテ、第三條ニハ別ニ左様ナコトハ認
メテゴザイマセヌガ、併シスケ致シマスコ
トガ、矢張リ國家經濟ノ秩序ヲ維持シ又ハ
民生ノ安定ト云フコトニ寄與スル所デアリ、
又火災保險契約ヲ致シマスモノノ利益ニ合
致スル所以デアル、斯様ニ考ヘマシタノデ、
モ、多分ニ公益的意義ヲ考ヘマシテ斯様ナ
體裁ニ致シタノデゴザイマス、此所ニ「命令
ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外」ト云フコトデ、
特ニ自働附帶ヲサセナイ場合モアリ得ルコ
モチヨット申上ゲマシタ通り、極ク假ノ建設
トヲシマシテ、所謂填補範圍ノ擴張ノ方法
ニ依リマセヌデシタ理由ハ、單ニ火災バカリ
デナク、損壊デアリマストカ、其ノ他地震ナラ
十分ダラウト思ハレルヤウナモノデアリマ
ストカ、或ハ火災保險ノ方ハ金額ハ少クテ
バ目的ヲ達シ、又ソレデ社會的ニ考ヘテモ
十分ダラウト思ハレルヤウナモノデアリマ
ストカ、或ハ火災保險ノ方トシテハモット
濟ムケレドモ、戰爭保險ノ方トシテハモット
多額ノ保險契約ヲシナケレバナラヌ場合デ
アリマストカ、或ハ火災保險ハ、季節的ニ
考ヘテ、例ヘバ冬ノ間ダケ付ケレバ宜ト
云フヤウナ場合デモ、戰爭保險ダケハ一年
中ヲ通ジテ付ケテ置キタイ、斯ウ云フコト
モ有リ得ルト思フノデアリマス、左様ナ場
合ニハ此ノ命令ヲ以テ定ムル場合ニ該當致
サセマシテ、別ニ切離シタ取扱ヲスルコト
モ認メテ居ルノデアリマスガ、一般的ニ申
上ゲマスレバ、前段申上ゲマシタ通り、原
則ト致シマシテ、特定地域ニ於ケル火災保
險契約ニ付キマシテハ、併セテ二ツノ保險
契約ガ自働的ニ成立スル、斯様ナ體裁ヲ採
リマシタ次第ゴザイマス

○委員外議員(岩田宙造君) 御趣意ハ大體
分リマシタガ、只今ノ御説明ノ中ニ、此ノ
第三條ニ依シテ戰爭保險又ハ地震保險ヲ附
帶セシメタ場合ハ、其ノ擔保スル事故ガ、
其ノ基本契約デアル火災保險デ擔保シテ居

ルヤウチ次第アリマス、併セテ其ノ點ヲ

御答へ申上ガマス

○委員外議員(岩田宙造君) 只今御説明ノゴザイマシタ戦争保険等附帯セムシル必要ガゴザイマス場合ハ、是ハ第四條デ十分ソレヲ賄ヘルノデアルト考ヘルノデアリマスガ、併シ御説明ニ依リマシテ、政府ノ御趣旨ハ分リマシタカラ、是デ此ノ點ハ了承致シマシタ、第五條ニ付テチヨット御尋ネシタノデスガ、チヨット委員長ニ御願ヒ致シマスガ、若シ同フコトガ既ニ質疑應答ガ濟ンデ居リマシタラ、御注意ヲ願ヒマス、此ノ第五條ハ戦争保険其ノ他ノ損害保険モ命令デ規定サレルヤウデアリマスガ、假ニ戦争保険ノミニ付テ考ヘテ見マシテモ、此ノ戦争保険ノミニ付テ設ケラレテ、戦争保険ノ方ヲ設ケラレナカッタ理由ハドウ云フ

戦争危険ノ非常ニ少イヤウナ地域迄、其ノヤウナ效果ヲ及シマスコトハ、實情ニ必ズシモ副フ所以デナイト考ヘマセヌデシタガ、併シ御説明ニ依リマシテ、政府ノ御趣旨ハ分リマシタカラ、是デ此ノ點ハ了承致シマシタ、第五條ニ付テ年額二圓程度ノ保険料額五十錢位ノ低率ニ致シタイ考デアリマス、サウ致シマスト地震保険ノ方ニ關シマシテハ、政府ガ結局ニ於テ收得スベキ地震事故ニ對スル保険料ニ相當スル部分ノ計算ト云フモノガ、非常ニ瑣末ナ金額ニナリ勝チナノデアリマス、從ヒマシテ若シ別立テデ契約ヲ取結シダケゴザイマスルト云フナカ／＼其ノ計算が出来ナイト云フヤウキ方ハ、地震保険ニ限リマシテハ、附帶スルヤウナ形ヲ取リマセヌデ、擔保範囲ノ擴張ノヤウナ形ヲ取シタノデアリマスガ、併シ戦争保険ノ方ニ付キマシテハ、地震保険ニ較ベマスト、保険料金ノ方モ今申シマシタ通り、地震保険ニ於ケル程計算上ノ技術的困難ガ多クハナイヤウニ考ヘマスノデ、別個ノ取扱シテモ差支カラウ、斯様ニ考ヘテ居ラヌノハドウ云フ理由デアルカト云フ御尋ニ承シタノデアリマスガ、其ノ理由ノ一つハ戦争保険ニ關シマシテハ、地域ノ關係ガ非常ニ重大ナ要素ヲ持ツテ參ルト考ヘルノデアリマス、即チ空襲等ノ戦争事故ノ起り易イ地域ト、然ラザル地域トハ相當ニ係ガアルト考ヘタノデゴザイマス、從ヒマシテ戦争事故ノ免責ト致シマシテモ、

タヤウナ規定ノ計算ニ致シタ次第ゴザイマス

○委員外議員(岩田宙造君) 一應御説明ハ了承致シマシタガ、サウ致シマスト、此ノ第一條ノ第二項ノ地震保険ノ場合ノ擔保致シマシテハ保険料計算ノ關係ガ、是ハ昨日モ申上ガマシタガ、戦争保険ニ關シマシテハ、大體千圓ニ付テ年額二圓程度ノ保険料ニ致シタイ考ヘテ進シテ居リマスガ、地震保険ノ方ニ關シマシテハ、千圓ニ付テ年額五十錢位ノ低率ニ致シタイ考デアリマス、サウ致シマスト地震保険ノ方ニ關シマシテハ、政府ガ結局ニ於テ收得スベキ地震事故ニ對スル保険料ニ相當スル部分ノ計算ト云フモノガ、非常ニ瑣末ナ金額ニナリ勝チナノデアリマス、從ヒマシテ若シ別立テデ契約ヲ取結シダケゴザイマスルト云フナカ／＼其ノ計算が出来ナイト云フヤウキ方ハ、地震保険ニ限リマシテハ、附帶スルヤウナ形ヲ取リマセヌデ、擔保範囲ノ擴張ノヤウナ形ヲ取シタノデアリマスガ、併シ戦争保険ノ方ニ付キマシテハ、地震保険ニ較ベマスト、保険料金ノ方モ今申シマシタ通り、地震保険ニ於ケル程計算上ノ技術的困難ガ多クハナイヤウニ考ヘマスノデ、別個ノ取扱シテモ差支カラウ、斯様ニ考ヘテ居ラヌノハドウ云フ理由デアルカト云フ御尋ニ承シタノデアリマスガ、其ノ理由ノ一つハ戦争保険ニ關シマシテハ、地域ノ關係ガ非常ニ重大ナ要素ヲ持ツテ參ルト考ヘルノデアリマス、即チ空襲等ノ戦争事故ノ起り易イ地域ト、然ラザル地域トハ相當ニ係ガアルト考ヘタノデゴザイマス、從ヒマシテ戦争事故ノ免責ト致シマシテモ、

ト、第五條ハ是ハモウ強制ト同ジ趣旨ニナルノデアリマスカラ、戦争保険ノ方ガ若シ強制的ニ付セラレルト云フコトニナッテ居リマセスト、地震保険ニ關スル取扱ト、戦争保険ニ對スル取扱ガ大變違フト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ邊ハ如何デゴザイマセウ

○政府委員(山際正道君) 第一ノ御尋ノ點、即チ填補範囲ノ問題ニ關シマシテ、第三條ノ場合ト第五條ノ場合トニ於テ差異ガアル解釋ニナルト云フ御見解ハ誠ニ其ノ通リデゴザイマス、ソレヲ左様ナ結果ニ致シテアリマス理由ハ、只今モチヨット御話ガゴザイマシタガ、專ラ第五條ノ場合ニ運送保険ノ場合ニ於テ運送保険ノ方デ保険事故ニ別ニ地震保険契約ガ締結サレタモノト看做サレル場合ハ、第一條第二項ニ規定シテアリマス一切ノ事故ニ原因シタ損害ヲ擔保スルト云フコトニナリマスルカラ、其ノ範圍ガ餘程達フヤウニナルノデアリマスガ、

第三條ノ戦争保険契約等附帯セラレタ

ル場合ト對照致シマシテ、第五條ハ便宜ナ

一ツノ取扱デハアリマスルガ、チヨット其ノ

權衡上不權衡デハナイカト云フヤウナ氣ガ

スルノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ、ソレガ一ツト、ソレカラ今一ツハ、戰

争保険ノ方ハ、今運送保険等ニモ附帯セシ

法ニ依リマシテ、運送保険ノ場合ハ、ソレ

ト併セマシテ、戰争保険契約ヲ付ケル取扱

ニナッテ居リマシテ、大體其ノ取扱ニ皆習熟

是ハ私モヨク承知シナイノデアリマスガ、

矢張リ強制的ニソレヲヤルコトニナッテ居ル

ノデアリマセウカ、若シサウデナイトスル

次ニ統制會等ヲシテ研究ヲサセマシテ、保

第四部第一〇類 昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第四號 昭和十九年二月三日

險約款モ統一モサセマスルシ、事故ノ如キモ貨物ノ種類ニ從ヒマシテハ成ルベク統一の考ヘマシテ、結果ニ於テ第一條ノ第二項ノ場合ト權衡ヲ失スルコトノナイヤウナ指導ヲ致シタイ考ヘハ持ツテ居リマスルガ、原案ニ於キマシテ第五條ノヤウナ行キ方ヲ取リマシタノハ、前段申上ゲマシタヤウナ理由ニ基クモノデゴザイマス、尙御尋ノ今一ツノ點ハ、現在ヤッテ居ル運送保險ト並行シテ居ル戦爭保險契約ハ、強制的手段デヤッテ居ルノカト云フ御尋ガゴザイマシタ、是ハ左様デハゴザイマヌクデアリマス、即チ現在ノ戰爭保險措置法ニ依ル任意申込ミノ條項ニ從ヒマスル戰爭保險契約ダケ成立シテ居ルノデゴザイマス、唯運送保險ハ事柄ノ性質上、何ト申シマスルカ、關係者ガソレゾレ其ノ方面ノ練熟シタ人トノ間ニ行ハレル關係デアリマスルノデ、強制致シマセヌデモ、其ノ邊ハ十分目的ヲ達スル程度ニ行渡シテ居ルヤウニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス。

○委員外議員(岩田宙造君) 只今ノ御説明

ニ依リマシテモ、ドウモ地震保險、戰爭保險等ヲ強制的ニ附帶セシメルトカ、或ハ第五條ニ依ツテ強制的ニ免責約款ヲ失效致シマストカト云フ場合ト、ソレカラ一方此ノ法律ニ取上げテナイ運送保險ト戰爭保險トは、當事者が任意ニヤッテ居ルノデアリマス、即チ命令ヲ以て定メナイ考デ居ルノモ、是ハ當事者が任意ニヤッテ居ルノデアッテ、強制的ニ保險シテ居ルノデヤナイト云フヤウナ只今ノ説明カラ見マシテ、ソレ等ノ取扱振リガ、強制スル場合ト任意ニ任シテ置ク場合トノドウモ統一ガハッキリ取レナイノデヤナイカ、ト云フヤウナ氣ガスルノデアリマスルガ、御説明ハ了承致シマス、丁

○委員外議員(岩田宙造君) 今一點ダケ、

此ノ第五條ニ依リマスルト、契約ノ當事者

度ソレト同ジヤウナ關係ニナルノデアリマスルガ、此ノ運送保險其ノ他ノ損害保險ト云フ、其ノ他ノ損害保險ノ中ニ海上保險ハ是ハ御加ヘニナル積リデゴザイマセウカ、若御加ヘニナラナイノデゴザイマセウカ、若シ海上保險ヲ御加ヘニナラナイト云フコトニナリマスルト、矢張リ海上保險ニ、其ノ海上保險ト地震保險トノ關係ガ此ノ第五條ト對照致シマシテ、矢張リ權衡ヲ失スルコトニナルノデハナイカ、此ノ損害保險ニハ地震保險ガ、マア實質上地震保險ガクツ付イテ來ルコトニナルノデアリマスガ、此ノ中ニ海上保險ヲ取レナイコトニナリマスルト、海上保險ノ方ニハ地震保險ガクツ付イテ來ル、戰爭保險ハ、今マア實際ヤッテ居ルト云フ御説明デアリマスカラ、暫クソレニ委スルト致シマシテモ、地震保險ダケハ之ニクツ付イテ來ナイノデ、大變權衡ヲ失スルト云フヤウナ嫌ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ如何デゴザイマセウカ

ハ、地震コ因ル損害ハ填補シナイ積リデ保険料等ヲ決メテ契約致シテ居リマシテモ、マス結果、契約者ノ負擔が増加ヲスルト云スルガ、此ノ運送保險其ノ他ノ損害保險ト此ノ規定ノ效果トシテ、地震ニ因ル損害モ填補シナケレバナラヌ責任ヲ保險者ガ持ツノデアリマスカラ、初メ豫期シタヨリモ重イ責任ヲ負フコトニナリマスルガ、此ノ場合ニ保險料ノ關係ハドウナルノデアリマセウカ、此ノ法律ガ出マシタ以上ハ、是カラハモウ當然地震ヲ填補シナケレバナラヌコトニナリマスルカラ、保険料ヲ、只今ノ御トニナリマスルト、地震ノ場合ハ比較的少額ノ保険料ノヤウデアリマスルガ、少額ト雖モソレダケ責任ガ殖エマスカラ、保険料ニ影響ヲ及スノハ當然ダト思フノデアリマスガ、此ノ法律ヲ施行サレタ後ハ、此ノ運送保險其ノ他ノ損害保險デ、命令デ定メラタモノノ保険料ト云フモノハ、ソレダケ増加サレルト云フコトヲ豫想シテ居ラル、譯デアリマセウカ

○政府委員(山際正道君) 第五條ノ命令ノ決メ方ト致シマシテハ、是ハ御手許ノ資料ニモ差上ゲテ置キマシタガ、差當リ本法施行後成立スル運送保險ニ付テ適用シテ行クト云フ決メ方ニ致シタイト思フノデアリマス、即チ命令ヲ以て定メナイ考デ居ルノマスカラ、理窟カラ申シマシテ保險者トス、御示ノ通り地震ノ免責ヲ致サヌノデアリマスカラ、理窟カラ申シマシテ保險者ト致シマシテハ、保險料ヲヨリ多く貰ハネバナラヌ關係ニナルノデアリマス、從ヒマシ合ノ、實際上最モ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ點ニ相成ルノデアリマス、保險ノ純粹ノ理論カラ申シマスレバ、一定ノ計算ニ從ヒマシテ、保險料デ當然支拂フベキ保険金ガ賄ハレル計算ノ上ニ行ハレルベキモノデアルコトハ、是ハ申ス迄モナイノデアリマス、唯此ノ種ノ特殊ノ保險ニ於キマシテハ、危険率ノ算定ト云フコトハ先づ不可能ト申上ゲルノガ正シイカト思フ位デアリマス、到底前段申上ゲマシタヤウナ計算上ノ基礎ニ立ツ保険料ノ徵收ト云フコトハ出來ナイ實情デゴザイマス、戰爭保險料金ト致シマテ年額二圓程度、地震保險料金ト致シマ

シテ年額五十錢程度ト申上ゲマシタノハ、左様ナ計算上ノ基礎カラ申上ゲルノデハゴザイマセヌ、何ト申シマスルカ、客觀的ナ或ハ常識的ナ考ヘ方カラ致シマシテ、此クモノナノデゴザイマス、從ヒマシテ現實ニ大キナ空襲等ニ因ル被害ガゴザイマシタ場合、或ハ大震災ガゴザイマシタ場合ニ於キマシテハ、ソレハ御指摘ノ如ク到底ソレ迄是ハ當然豫想シナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ意味カラ申シマスレバ、實質上はガ國營ニ屬スルモノデアリマスカラ、財政負擔ハ相當多額ニ達スルコトヲ覺悟シナグレバナラナイノデアリマス、從ヒマシテ此ノ種ノ行キ方ト云フモノハ、戰時ニ於キマシテドウシテモ、現今ノ火災保険ノ契約高、又過去ノ關東大震災等ノ事情ヲ申上ゲマスト、以上申上ゲマシタヤウナ數字ニ相成ツテ居ルノデアリマス

○大野綠一郎君 只今ノ御話デ、今ノ戰爭ニ因ル所謂戰爭保險ノ方ハ、是ハ戰爭ニ因ル危險デアリマスルカラシテ、之ニ付テ國ガ多額ノ負擔ヲスルト云フコトニ付テハ能ノ保護安定ト云フ見地カラデナケレバ、萬一ノ場合ハ相當此ノ金額ガ多額ニナル、財政ノ資金、昨日モ御尋ガゴザイマシタガ、萬一ノ場合ハ相當シナケレバナラスト云フコトヲ、是ハ覺悟シテ此ノ制度ヲ始メネバナラスト思ッテ居ルノデゴザイマス、唯昨日モ申上ガマシタ通り、現實ノ保險料ノ支拂ニ關シマシテハ、其ノ事目體他ノ經濟秩序ノ混亂ヲ來スヤウナ原因ニナリマセヌヤウニ、適當ナ限度ニ於テ之ヲ封鎖致シマスナリ、財政上之ヲ負擔致シ、其ノ結果更ニ經濟界適當ナ方法ヲ講ジテ參リタイト考ヘテ居リマスカラ、縱令相當ナ事故ガ起リマシテモ、財政上之ヲ負擔致シ、其ノ結果更ニ經濟界ニ及ス影響、又民生ノ上ニ與ヘモ經濟界ニ及ス影響等ニ關シマシテハ、地震等ニ劣ラヌ場合ガ相當アルノデアリマス、從ヒマシテ風水害等ニ對スル對策モ、保險ノ制度ヲ、是ガ混亂スルト云フヤウナ時代ニハ、先づ事ナクシテ行キ得ル制度デアルト考ヘテ居ル次第アリマス、尙ホンノ是ハ御参考迄ニ申上ゲルノデゴザイマスガ、現在ノ内地全

部ノ火災保險契約ガ今日昨年ノ八月末現在デ、御手許ニ資料トシテ差上ゲマシタカ、五百六十億圓ニナシテ居リマス、過般關東大震災ノ場合ニ於キマシテ、若シ地震免責デナカツタナラバ、保險會社ガ支拂ハネバナラシマスト、約十三億圓ニ相成ツテ居ルノデアリマス、勿論今後ニ於ケル戰爭事故ノ規模、ソレカラ地震被害ノ狀況等ハ到底豫測ヲ許サレマセヌケレドモ、現在ノ火災保險ノ契約高、又過去ノ關東大震災等ノ事情ヲ申上ゲマスト、以上申上ゲマシタヤウナ數字ニ相成ツテ居ルノデアリマス

○男爵倉富鈞君 今回ノ此ノ御提案ノ法律ニ依リマスト、戰爭保險ハ現在ノ戰爭保險ノ秩序ニ維持或ハ國民生活ノ安定ト云フ意味カラ言ヘバ、戰爭ノ際ニ地震ノ起ルノミナラズ、風水害ト力色々ナ災害ガアル、サウ云フ意味カラ言フト、特ニ地震ダケヲ取立テルト云フノモ、稍、權衡ヲ失スルヤウナ懸念ガアリマスガ、ソレハドウデアリマスル爲ニ、今日迄實ハ之ヲ保險制度ニ依ル所迄研究ガ進ンテ居ラヌノデアリマス、尙今後モ其ノ點ハ研究ヲ續ケルコトニ致シテ居リマス

○政府委員(山際正道君) 誠ニ御尤モナ御尋デゴザイマシテ、風水害ニ因ル被害ト雖ニ於テ之ヲ封鎖致シマスナリ、又新シク地震保険ノ制度モ御始メニナルト云フコトハ誠ニ妥當ナ考デアルト思フノデアリマスガ、三條ノ場合ノ如キハ、普通ノ火災保險契約ガ成立スレバ、同時ニ戰爭保險ナリ地震保險ナリガ、自動的ニ成立スル非常ニ便法デアルトモ言ヘマスガ、一方強制的ナ規定トモ思ハレマス、又第四條ハ全然強制的ノ規定ハレマス、御指摘ノ點ハ誠ニ御尤ニ存ズルノデアリマス、現在生命保險ノ制度、又戰爭死亡傷害保險ノ制度ガ、人的保險ノ制度モ、制度トシテハ大體備ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ普及ノ方法ニ關シマシテ、今日御審議ヲ願ツテ居ル法案ノヤウナ行キ方ヲシテ居ラナイノデアリマス、是ハ何處迄モ關係者ノ時局ニ對スル何ト申シマスカ、認識ト申シマスカ、十分ナル意識ノ下ニ生命關係ノ保險ハ進メテ參リタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス爲ニ、生命保險、戰爭

死亡傷害保険ヲ強制スルト云フ所迄ハ實ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、大體各方面ニ對スル色々ノ宣傳ナリ、又折衝ナリニ依リマシテ、戰爭死亡傷害保険ノ如キハ特ニ戰時下必要ナ施設アルト云フコトガ了解サレマシテ、其ノ利用ノ範圍モ漸次擴大致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後此ノ方面ノモノハ一層普及宣傳ノ方法ニ依リマシテ、十分ノ效果ヲ舉ガテ參リタイ、現在ニ數字ノ點ハ現在生命保險契約ハ五百億ヲチヤット超エテ居リマス、ソレニ對シマシテ戰爭死亡傷害保険ノ方ハ約十六億圓ノ契約ニ達シテ居リマス

○男爵倉富鈞君 有難ウゴザイマシタ
能ク分リマシタガ、此ノ御提案ノ御説明ノ時ニ、現在ノ戰爭保險臨時措置法ニ依ル契約高ハ、火災保險契約ノ二割五分ト云フヤウナ見當デアルト云フ御話デアリマシタガ、普通ノ生命保險ニ對シマシテ、戰爭死亡傷害保険ノ普及ノ率ハドシナ程度ニナッテ居リマスカ、ソレカラモウツノ序デニ第三條ノ讀方ト申シマスカ、解釋デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ風ニ考へ付キマシテ申シマスト、此ノ法律ガ施行サレタ後ニ、日本ノ内地ニアル本法ノ保險ノ目的トナルモノニ付キマシテ、其ノモノノ所有者ガ政府ノ指定ノ保險會社トノ間に火災保險契約ヲ締結致シマスト、其ノ者モ大臣ニ地震保險ヲ受ケマセヌト云フコトニ付テノ認可ヲ得テ置カナイ限り、火災保險契約ノ成立ト同時ニ地震保險ガ成立スル、サウシテ又其ノ者ノ所在地ガ戰爭保險ノ指定地域内デアッタ場合ニハ、同時ニ戰爭保險モ成立スルト云フ風ニ考ヘテ宜イノデゴザイマスカ

○政府委員(山際正道君) 前段御尋ノ數字ハ只今調べテ居リマスカラ直グ申上げマス、後段御尋ノ點ハ御話ノ通リト御了解願タテ結構デゴザイマス、尙且今申上げマシタテ、十分ノ効果ヲ舉ガテ參リタイ、現在ニ數字ノ點ハ現在生命保險契約ハ五百億ヲチヤット超エテ居リマス、ソレニ對シマシテ戰爭死亡傷害保険ノ方ハ約十六億圓ノ契約ニ達シテ居リマス

○佐々木八十人君 有難ウゴザイマシタ
大藏省ノ御出シノ資料中、戰爭保險臨時措置法施行規則ノ第一章
保険條件第四條ニ「保險金額ハ保險價額ノ十分ノ九ヲ超エザルモノトス同一ノ保險ノ目的ニ付數個ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ保險金額ノ合計額ニ付亦同ジ」下アリマスガ、只今審議中ノ戰時特殊損害保險法案中ノ第何條ガ舊法、即チ戰爭保險臨時措置法施行規則ノ第一章ノ、保險條件ノ第四條ニ該當スルモノニアリマスカラ承知致シタノデアリマス

○政府委員(村岡信勝君) 現在ノ戰爭保險
臨時措置法施行規則ニハ、今御示シノヤウ
ニ保險金額ノ限度ヲ決メマシテ、保險金額ハ保險價額ノ十分ノ九ヲ超エテハイケナイ、ハ九千圓迄付ケラレルト云フ關係デゴザイマスノデスカ

○政府委員(村岡信勝君) 逆デゴザイマシテ、火災保險ガ一萬圓アレバ戰爭保險ノ方ハ九千圓迄付ケラレルト云フ關係デゴザイマス
○佐々木八十人君 若シコレニ災害ガアッタ時ニ、ソレハ全額保險金ハ支拂フコトニスルノデスカ

○政府委員(村岡信勝君) 保険價額乃至保險金額ノ九割迄シカ付ケラレマセヌノデ、實際災害ガアリマシテ、例ヘバ一萬圓ノ保險價額ノアル建物ガ全損致シマス其ノ場合ト云フヤウナモノニアリマス、然ラバ其ノ預金ハドウスルカト申シマスト、現在ノ規定デハ是ハ大藏大臣ノ許可ヲ得マシタ場合ハ拂出ス、然ラザル場合ハ五年滿期ト云フコトニ相成シテ居ルノデゴザイマス、今例トシテ御引キニナリマシタヤウニ、色々復興等ノ事情ガ許シマスナラバ、勿論大藏大臣ハ之ヲ許可スル筈デゴザイマス、左様ナル場合ニハ直グ其ノ預金ノ引出シガ出來ル、斯ウ云フ事情ニ相成シテ居リマス

○佐々木八十人君 了解致シマシタ、次ニ

奉公トシシテ飽ク迄モ大衆ノ住宅ヲヨリ多ク建築シナケレバナラズ、併シナガラ建築資材ニ對スル保険が僅カ一割デハ燒ケ跡ノ灰燼キ費用ニモ足ラナイト云フノデ、實ハ貸家業者ノ企業心理ニ大變不安ヲ起シテ居リマス、併シナガラ只今御話ノ如クハサウ云フ考ヘデゴザイマスガ、今迄ノ戰争保險臨時措置法ノ施行ノ實績カラ申シマシテ、九割ニ保険金額ヲ制限致シマスコトガ、如何ニモ保險會社ノ實際ノ實務ノ扱ヒ上非常ナ不便ガアルト云フヤウナ點ガゴザイマスノデ、或ハ此ノ九割ノ制限ヲ保険價額一杯迄付ケテモ宜ノデハナイカト云フ風ナ疑問モアリマスルガ、其ノ點ハ尙現在研究中デゴザイマス、以上申上げマス

○佐々木八十人君 サウシマスト例ヘバ火災保險ガ一萬圓ノモノナレバ、一千圓シカ此ノ戰時特殊損害ノ保險ヲシテ行カレナイトコトニナルノデスカ、後ノ九千圓ハドウナルノデスカ

○政府委員(村岡信勝君) 逆デゴザイマシテ、火災保險ガ一萬圓アレバ戰爭保險ノ方ハ九千圓迄付ケラレルト云フ關係デゴザイマスノハ例ヘバ三千圓ト云フ限度ニ致シマスノハ現金デ支拂フノデアリマスガ、唯昨日モ支拂フコトニナルモノニアリマスカ

○政府委員(山際正道君) 保險會社ハ保險會社ガソレヲ支拂フ場合ニ於テ、或ハ公債トカ他ノモノデ支拂フノデハナク、現金デ支拂フコトニナルモノニアリマスカ

○佐々木八十人君 若シコレニ災害ガアッタ時ニ、ソレハ全額保險金ハ支拂フコトニスルノデスカ

○政府委員(村岡信勝君) 保険價額乃至保險金額ノ九割迄シカ付ケラレマセヌノデ、實際災害ガアリマシテ、例ヘバ一萬圓ノ保險價額ノアル建物ガ全損致シマス其ノ場合ト云フヤウナモノニアリマス、然ラバ其ノ預金ハドウスルカト申シマスト、現在ノ規定デハ是ハ大藏大臣ノ許可ヲ得マシタ場合ハ拂出ス、然ラザル場合ハ五年滿期ト云フコトニ相成シテ居ルノデゴザイマス、今例トシテ御引キニナリマシタヤウニ、色々復興等ノ事情ガ許シマスナラバ、勿論大藏大臣ハ之ヲ許可スル筈デゴザイマス、左様ナル場合ニハ直グ其ノ預金ノ引出シガ出來ル、斯ウ云フ事情ニ相成シテ居リマス

致シタインデアリマスガ、宜シウゴザイマ
スカ

○委員長(男爵東郷安君) 宜シウゴザイマ
ス

○佐々木八十人君 此ノ第十條ノニ於ケ
ル條文中ニ「企業整備資金措置法第五條ニ
規定スル方法其ノ他ノ方法ニ依リ其ノ決済ヲ
爲スペキコトヲ命ズルコトヲ得」トアリマス
ガ、第三條、第五條、第六條乃至第十六條
及第二十八條ノ規定等政府ノ命令ノ定ムル
所、即チ委任命令ノ内容等ヲ豫メ承知致シ
タイノデスガ

○政府委員(林修三君) 只今御尋ノ臨時資
金調整法第十條ノ二ノ第一項ニゴザイマス、
企業整備資金措置法第五條トゴザイマスノ
ハ、御承知ノヤウニ企業整備資金措置法第
五條ニハ、特殊預金ト申シマスカ、特殊金
錢信託、ソレカラ政府ノ特殊借入金、戰時
金融金庫ノ特殊借入金、其ノ他ノ債務者ノ
特殊借入金、此ノ五種類ノ實ハ特殊決済ノ
方法ガ規定シテゴザイマス、其ノ中、御手
許ニ差上ダシタ命令案ニ載ッテ居ルト存ジ
マスケレドモ、臨時資金調整法ノ第十條ノ
二ニ依リマシテ特殊決済ヲ命ジマス場合ニ
ハ、其ノ中ノ二ツ、即チ特殊預金、特殊金
錢信託、此ノ二ツヶヲ差當リ使ッテ行キタ
イ、斯様ニ只今ノ所考ヘテ居ル次第ゴザ
イマス、ソレカラ第二項ノ方ニ企業整備資
金措置法ノ第三條ノ規定ニ準ズト、斯ウ云
フ規定ガゴザイマス、是ハ政府ガ自分ノ債
務ヲ特殊決済ノ方法ニ依ツテ支拂フ、斯ウ云
フコトガ出來ルト云フ規定デゴザイマシテ、
其ノ方法ト致シマシテハ、企業整備資金
措置法第三條ニハ、特殊預金、特殊金錢信
託、政府ノ特殊借入金、此ノ三種ノ方法ガ

規定シテゴザイマス、大體此ノ臨時資金調
整法デ此ノ第二項ノ條文ヲ使ツテ参リマス場
合ニモ、此ノ三種類ノモノヲ使ツテ參ル考デ
居ルノデアリマス、ソレカラ第三項ニ企業
整備資金措置法ノ各條ノ準用條文ガ載ッテ
居ル譯デアリマスガ、是ハ第一項及第二項
ニ依リマシテ、企業整備資金措置法ニ規定
シテゴザイマス特殊決済ノ方法ヲ使ヒマス
關係上、其ノ特殊決済ヲ命ジタ場合、或ハ
特殊決済ニ依ルモノトナシタ場合ニ於キマ
シテ、其ノ決済ノ手續トカ、或ハ其ノ特殊
決済ニ關シマシテ見合ヒ融資ト申シマスカ、
債務者ガ銀行ナラ銀行ニ預金ヲ拂込ミマス、
其ノ拂込ムベキ預金ニ對シテ、銀行ガ其ノ
拂込資金ヲ融通スルト云フ制度ガ決済ニ付
テハアル譯デゴザイマス、其ノ見合ヒ融資
ノ制度デアリマストカ、或ハ特殊決済ノ其
ノ預金トカ、金錢信託ノ條件デアリマスト
カ、或ハ先程御説明ガアリマシタガ、特殊
預金トカ特殊金錢信託ハ、只今ノ所ハ五年
ト云フ期限ニナツテ居リマスガ、大藏大臣ノ
許可ヲ得タ場合ニ於テハ期限前ニ拂戻ガ出
来マス、其ノ期限前ノ拂戻ノ規定デアリマ
ストカ、或ハ解除デアリマストカ、斯ウ云
フ特殊決済資金ノ償還デアリマストカ、或
ハ一定ノ場合ニ金融機關其ノ他ニ讓渡ス場
合ノ許可認可デアリマストカ、或ハ之ヲ擔
保ニ提供スル場合ノ規定デアリマストカ、
斯ウ云フ場合ハ總テ企業整備資金措置法ニ
合ニモ準用致サウ、斯ウ云フ關係デ第三項
ニ準用條文ガ掲ゲテアル譯デゴザイマス
ハ、現金ヲサウ遊バシテ居ルモノハ殆ドナ
イノデス、然ルニ近頃ハ租税ノ激増ト云ヒ

又貯蓄ノ強制或ハ公債ノ買入ヲセネバナラ
スト云フコトニナルト、ナカノ現金デ納
入スルコトガ困難デス、政府アタリノ御考
ハ、利益ハ皆現金デアルト云フヤウニ御思ヒ
ニナツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、先ヅ
現金ト云フモノハ手許ニナイ、相當現金デ
ヲ受ケルト云フヤウナコトニナル場合ガナ
キニシモアラズデゴザイマス、サスレバ
大變ナ御手數ヲ國家ニ對シテ掛ケルコトニ
ナリマス、サウ云フコトガナイヤウニハ望
ンデ居リマスルケレドモ、偶、巨額ノ租税ヲ
納メル時ニハ、事業家ト致シマシテハ銀行
カラ一時ノ借入ヲ致シマストカ、相當ノ工
面ヲ致シテ正金ヲ整ヘテ納稅スルコトガ多
多アルヤニ聞イテ居リマス、此ノ上戰局ガ
進ムニ連レテ、此ノ現金難ト云フモノハ益々
深刻ヲ極ムルコトト存ジマス、只今申シマ
シタ通リニ、近頃ハ租税ハ激増致シマシテ、
高額ノ貯蓄、公債ノ買入ノ他ノ爲ニ現金
ノ吸收ト云フコトハ益、激化シツ、アルノデ
アリマス、剩ヘ資金調整法ニ依リマシテ、
銀行ハコチラガ言フヤウニナカノ貸出シ
テ吳レナイ、相當ニ制限ヲ付シテ居ルノデ、
銀行カラ借出スト云フコトモ容易ナラヌ一
ツノ技術ヲ事業家トシテハ要スルヤウナコ
トニナツテ來タノデアリマス、ソコデ聊カ不
動産ヲ持ツテ居ル者ニシマスト、此ノ不動產
ヲ現金化スト云フコト致シマシタ場合ニ於キマ
シテ、此ノ資金調整法ニ基イテサウシテ全
額之ヲ現金化スルコトガ出來ナイト云フコト
ガゴザイマス、加之其ノ場合ニハ約八割バ
トニナツテ來タノデアリマス、ソコデ聊カ不
動産ヲ持ツテ居ル者ニシマスト、此ノ不動產
ヲ現金化スト云フコト致シマシタ場合ニ於キマ
シテ、此ノ資金調整法ニ基イテサウシテ全
額之ヲ現金化スルコトガ出來ナイト云フコト
ガゴザイマス、其ノ代金ノ中カラ、例ヘバ舊債ノ償還ニ充
當スル必要ガアルトカ、或ハ賣却シタリ、
斯、從ヒマシテ只今ノ方針ト致シマシテハ
其ノ代金ノ中カラ、例ヘバ舊債ノ償還ニ充
當スル必要ガアルトカ、或ハ又差當
リノ生活費ニ充當スル必要ガアルトカ、或

ハ得ラレナイ、ト云フヤウナ苦境ニ立ツテ居
ル人モ澤山アルヤニ聞イテ居リマス、ソレ
ノミナラズ是カラ益、國民ト致シマシテハヨ
スカ

○政府委員(氏家武君) 臨時資金調整法ノ
第十條ノ二ノ運用ニ當ツテ、餘リ杓子、杓子
定規ナ嚴格ナヤリ方ヲシナイヤウニスル必
要ガアルト云フコトノ御尋ト思ヒマシテ、
ソレニ對シテ御答ヘ申上ダマス、土地其ノ
他ノ不動產ヲ賣拂ヒマンシタ場合ニ於キマ
シテ、其ノ代金ヲ全部國債ニシテシマフト云
ト云フコトハ全ク御話ノ通りナノデアリマ
ス、從ヒマシテ只今ノ方針ト致シマシテハ
其ノ代金ノ中カラ、例ヘバ舊債ノ償還ニ充
當スル必要ガアルトカ、或ハ賣却シタリ、
斯、從ヒマシテ只今ノ方針ト致シマシテハ
其ノ代金ノ中カラ、例ヘバ舊債ノ償還ニ充
當スル必要ガアルトカ、或ハ又差當
リノ生活費ニ充當スル必要ガアルトカ、或

ハ本人ヤ家族ノ疾病、災害其ノ他不時ノ費用ニ充當スル必要ガアルトカ、或ハ又事業資金、此ノ事業ニモ色々アルヤウデアリマスルケレドモ、時局下緊要ナ事業ニ對シテ金ヲ振向ケナケレバナラスト云フヤウナ必要ガアル場合、其ノ他斯ウ云フコトニ準ジテ考ヘルヲ適當トスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、勿論ソレヲ差引キマシタ殘リニ付テ、公債ヲ持テ戴クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、又其ノ場合ニ於キマシテモ公債デハドウシテモ工合ノ惡イ事情ガアルト云フコトデアリマスルベ、之ヲ又他ノ貯蓄ヲスルコトニ代ヘルト云フコトモ認メテ居ルノデアリマス、總テ第十條ノニ付キマシテハ、今日迄ノ所之ニ基イテ直ニ公債ノ保有命令ヲ出スルト云フヤウナコトハセズニ、先づ以テ當人ノ事情ヲ能ク聽キ取リマシテ、サウシテ話合ノ上デ實情ニ適シタ方法ヲヤルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、未ダ一遍モ之ニ基イテコチラカラ命令ヲ出シタト云フヤウナ所迄行ッタモノハナインデアリマシテ、事情ヲ聽キ取ッタ上、適當ナ所デ處理ヲスルト云フコトニ依テ圓満ニ解決致シテ居ルヤウナ次第ゴザリマス、今後モ左様ナ方針デ進ンデ行ク積リデゴザイマス。

○佐々木八十八君 結構ナ御答辯デ大イニ

デ私ハ大イニ感謝申上ガマス、次イデ、簡素化ト云フコトヲ此ノ頃頻リニ申サレルノデアリマス、只今ノ御答辯ニ依テ政府ノ御方針デハサウ云フ命令ノナイト云フコトデ是ハ誠ニ結構デアリマシテ、私ハソレニ對シテ改メテ申スコトハ毫モナインデアリマスガ、簡素化ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ國稅納付命令書、所謂赤紙ヲ以テ、之

ヲ證據ニ、只今仰セノ如ク租稅ノ全額、一例ヲ申シマスレバ、例ヘバ七萬圓ノ國稅ヲ納メナケレバナラヌ、其ノ時ニ丁度不動產ヲ賣却シタ金ガ七萬圓乃至七萬五千圓アルトスルト、五千圓ダケハ宜イガ、七萬圓ダケハ是非共租稅ヲ納メナケレバナラスノデ、其ノ七萬圓ヲ正金デ獲得ガ出來ルト云フヤウナコトノ場合ニハ、政府ノ方デ、ウ云フヤウナ命令ヲ出シテ居ラレマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙チヨット附加ヘマスガ、是ガ十萬圓ノ不動產ヲ賣却シテ七萬圓ノ稅金ヲ納メタ場合ニ、アトノ三萬圓ハ國債ヲ買シテモ宜イシ、又貯蓄ヲシテモ宜イ、併シ七萬圓ノ租稅ヲ納メル場合ニ、七萬圓乃至七萬五千圓ノ不動產ヲ賣却シタ時ニハ、其ノ中カラ或ハ證券或ハ國債ヲ買ヘト云フコトニナリマスルト、租稅ヲ納メルコトが出來ナイト云フコトニナル、斯ウ云フ場合ニハドウ云フ措置ヲ執リマスカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(氏家武君) 土地其ノ他ノ賣

拂代金ヲ得タ時ニ、一面ニ於テ納期ノ來タ租稅ガアル、ソレヲ納メナケレバナラスト云フ場合ニハドウ扱フカト云フ御尋ニアリマスルガ、是ハ又其ノ時ノ事情ニ依テ思ヒマス、是ハ以テ他山ノ石トスベキデアリマス、米兵ノ如キハ賞金ダトカ特別給與ダリマスガ、是ハ眞ニ味ハフベキ言葉デアルトカ、或ハ何箇月目ニハ歸還セシムトルカ、思ヒマス、是ハ現レデアルト思ヒマス、之ニ反云フヤウナコトニ釣ラレテ應召シ「スポツ」氣分デ戰ッテ居ル者ガアルト聞イテ居リマスガ、是ハ所謂個人主義、自由主義即チ西洋主義ノ現レデアルト思ヒマス、之ニ反シマシテ我ガ忠勇ナル將兵ハ、何等ノ給與ヲ要求セズ、一意國ニ殉ジマシテ莞爾トシテ花ト散ツテ居ルノデアリマス、之レ即チ日本主義デアリマス、然ルニ一面、斯カル將兵ノ奮鬪力戰竝ニ其ノ家族及遺族ノ涙グマシイ生活鬪爭ノ行ハレテ居リマスルノニ反シマシテ、牛面一部分デハアリマセウガ、ヘトカ或ハ他ノ貯蓄ニ振り向ケルコトハ、是ハ強ヒテ要求スル必要ハナイト考ヘト居リマスルノミナラズ、或ハ絶エズ產業

例ヲ申シマスレバ、例ヘバ七萬圓ノ國稅ヲ納メナケレバナラヌ、其ノ時ニ丁度不動產ヲ賣却シタ金ガ七萬圓乃至七萬五千圓アルトスルト、五千圓ダケハ宜イガ、七萬圓ダケハ是非共租稅ヲ納メナケレバナラスノデ、其ノ七萬圓ヲ正金デ獲得ガ出來ルト云フヤウナコトノ場合ニハ、政府ノ方デ、ウ云フヤウナ命令ヲ出シテ居ラレマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、尙チヨット附加ヘマスガ、是ガ十萬圓ノ不動產ヲ賣却シテ七萬圓乃至七萬五千圓ノ不動產ヲ賣却シタ時ニハ、其ノ中カラ或ハ證券或ハ國債ヲ買ヘト云フコトニナリマスルト、租稅ヲ納メルコトが出來ナイト云フコトニナル、斯ウ云フ場合ニハドウ云フ措置ヲ執リマスカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(氏家武君) 土地其ノ他ノ賣拂代金ヲ得タ時ニ、一面ニ於テ納期ノ來タ租稅ガアル、ソレヲ納メナケレバナラスト云フ場合ニハドウ扱フカト云フ御尋ニアリマスルガ、是ハ又其ノ時ノ事情ニ依テ思ヒマス、是ハ以テ他山ノ石トスベキデアリマス、米兵ノ如キハ賞金ダトカ特別給與ダリマスガ、是ハ眞ニ味ハフベキ言葉デアルトカ、或ハ何箇月目ニハ歸還セシムトルカ、思ヒマス、是ハ現レデアルト思ヒマス、之ニ反云フヤウナコトニ釣ラレテ應召シ「スポツ」氣分デ戰ッテ居ル者ガアルト聞イテ居リマスガ、是ハ所謂個人主義、自由主義即チ西洋主義ノ現レデアルト思ヒマス、之ニ反シマシテ我ガ忠勇ナル將兵ハ、何等ノ給與ヲ要求セズ、一意國ニ殉ジマシテ莞爾トシテ花ト散ツテ居ルノデアリマス、之レ即チ日本主義デアリマス、然ルニ一面、斯カル將兵ノ奮鬪力戰竝ニ其ノ家族及遺族ノ涙グマシイ生活鬪争ノ行ハレテ居リマスルノニ反シマシテ、牛面一部分デハアリマセウガ、ヘトカ或ハ他ノ貯蓄ニ振り向ケルコトハ、是ハ強ヒテ要求スル必要ハナイト考ヘト居リマスルノミナラズ、或ハ絶エズ產業

ノ物質主義ヲ改メシテマシテ、サウシテ日本主義ニ立歸ラシメ、道義的、精神的ナラシメザルニ於キマシテハ、其ノ弊風ハ滔々トシテ底止スル所ガナイト思ヒマス、其ノ影響スル所ハ又實ニ測リ知ルベカラザルモノガアルト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ、有ラユル意味ニ於キマシテ負擔ヲ公平ナラシメ、特ニ不良産業戰士ヲシテ道義的ニ、精神的ニ立歸ラシメマシテ、以テ日本主義ヲ忘レシムルガ如キ物質主義ニ墮落セシメザルヤウニ、此ノ際ニ有效適切ナル方策ヲバ御執リニナル必要ガアルカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ當局ノ御所見ヲバ伺ヒタイト思ヒマス、尙現在勞務管理上御實行ニ相成ツテ居リマス所ノモノヲバ、具體的ニ御説明ガ願ヒタイト思フノデアリマス、御答辯ハ只今申シマシタ如ク、書面又ハ次ノ本委員會ニ於テ煩ハシタイト思ヒマス

○委員長(男爵東郷安君) 速記中止
(速記中止)

○委員長(男爵東郷安君) 速記開始、是ニテ大體御質問ガ終了シタヤウニ認メラレマスカラ、昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案、學校特別會計法案、厚生保險特別會計法案、農業家畜再保險特別會計法案、簡易生命保險及郵便年金特別會計法案、臺灣事業用品資金特別會計法案、作業會計法外十法律中改正法律案、國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案、臨時資金調整法中改正法律案、戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案、煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案、是等ヲ一括シテ議題ニ供シ、討論ニ移リタイト思ヒマス、御意

見ヲ承リタイト思ヒマス

重ネテ私ハ議題ノ各案ニ賛成致ス者デゴザイマス

○伯爵橋本寶斐君 只今議題トナリマシタ等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件ハ、何レモ時局下緊要ナ關係ヲ有スル法律案アリマシテ、私ハ之ニ賛成スル者デゴザイマス、議題トナリマシタ法律案ノ中ニハ、

所謂赤字法案ト稱シマシテ、十九年度ノ一般會計ノ歳出財源ノ填補ニ充ツル公債ヲ發行スル權限ヲ與ヘルモノノ外、或ハ多岐ニ互リマスル 在來ノ各種特別會計ノ整理統合ニ依ツテ、會計制度ノ簡易化ヲ目的トルモノ、或ハ臨時資金調整法中改正法律案ノ如キ、國民ノ預貯金ノ災害時ニ於ケル期限前ノ拂戻シヲ認メ、若シクハ國債ノ低價買賣ヲ禁止シ、或ハ國債ノ獻納運動ヲ禁止シ得ル等ノ制度ヲ認メ、或ハ戰時特殊損害保険法ノ如キ、戰爭ノ苛烈化セル現段階ノ國民生活ノ保護ニ、最モ緊要ナ保険制度等ヲ含ンデ居リマスルノデアリマスルガ、是等ノ重要ナ制度ノ成否ハ、繋ツテ政府將來ノ運營如何ニ存スルノデアリマスルカラ、本委員會ノ席上ニ於テ、各委員方カラ御述ニ相成リマシタ御意見等ヲ十分御參酌ノ上慎重ナ御用意ヲ望ミマス、最後ニ公債ノ漸次累積シテ参リマスル今日ニ於キマシテハ、國民ノ之ガ負擔ニ付キマシテ、政府其ノ他地方公共團體等ニ於テ行ハレマスル割當ニ關シマシテハ、從來幾多生レテ居リマスル所ノ實情ニ鑑ミマシテ、國民ノ負擔力ノ實質的探究ニ依リマシテ、最モ公平確實ナル基準ニ依ツテ行ハレルヤウ御配慮アリマシテ、仍テ以テ是等カラ生ズル不必要ナル社會各層ノ摩擦ノ拂拭ニ御努メニナラムコトヲ希望シテ

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省銀行保険局長 山際 正道君
大藏書記官 鎌谷 直光君
同 同 同 同 同 同
吉村 健吉君
吉村 成一君
村岡 信勝君
林 修三君
濱田 幸雄君
濱田 德海君
同 同 同 同
深澤 家治君
武井 群嗣君

○委員長(男爵東郷安君) 全會一致ト認メマス、ソレデハ本委員ニハ尙戰時特殊損害保険法案ガ一ツ残ツテ居リマス、是ハ明日午後一時半カラ大體會ヲ開キタイ豫定デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、今日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後三時十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵東郷
副委員長 子爵梅園
子爵米田
子爵今城
大野綠
坂西利八郎君
男爵坊城
佐々木八十
稻畠勝太郎君
千石興太郎君
佐々木八十八
中島徳太郎君
大谷 五平君
岩田 宙造君
委員
侯爵大隈
侯爵淺野
長武君
實斐君
實斐君
國臣君
大野君
鈞君
宮田
光雄君

第四部第一〇類 昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第四號 昭和十九年一月三日 貴族院

一〇

昭和十九年二月五日印刷

昭和十九年二月六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局